

# 令和5年度 第2回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和5年8月3日（木）午後6時30分～

午後8時30分

会場：すみだリバーサイドホール イベントホール

## 次第

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査について
  - (2) すみだ子ども・子育て応援プログラムについて
  - (3) 部会による意見交換について
    - ア 前回の振り返り
    - イ 国、都、墨田区の子ども・子育て支援計画について
    - ウ 部会での意見交換
    - エ 部会の報告について
- 3 事務連絡
  - (1) 墨田区放課後子ども総合プラン推進委員会について
  - (2) 八広児童館の愛称募集について
  - (3) 次回開催予定
- 4 閉会

## 配布資料

- 資料1 墨田区子ども・子育て会議委員名簿（部会名簿）
- 資料2 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査票（就学前のお子さんの保護者の方）（案）
- 資料3 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査票（小学生のお子さんの保護者の方）（案）
- 資料4 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査票（中学2年生のみなさま）（案）
- 資料5 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査票（区内にお住いの16～18歳の方）（案）
- 資料6 「すみだ子ども・子育て応援プログラム」（案）
- 資料7 部会の議論のテーマ（案）
- 資料8 新しい児童館の愛称募集について

出席者（敬称略）

○委員

西村 孝幸（小梅保育園長）  
西島 由美（にしじま小児科院長）  
野原 健治（社会福祉法人興望館理事長）  
浅見 佳子（相模女子大学准教授）  
古屋 真（駒沢女子短期大学准教授）  
東 百代（本所白百合幼稚園長）  
星野 操（文花子育てひろば施設長）  
土屋 恵子（主任児童委員）  
末田 豪（立花吾孀の森小学校PTA会長）  
平林 秀敏（墨田中学校PTA会長）  
山口 仁美（両中地区青少年育成委員会委員長）  
徳原 広美（株式会社コーリン堀川取締役保育事業担当）  
賀川 祐二（NPO法人病児保育を作る会代表理事）  
高田 宏美（キャリア保育園東向島施設長）  
真鍋 文朗（区民公募委員）  
眞能 貴代（区民公募委員）  
三井田 香奈（区民公募委員）  
本谷 友実（区民公募委員）  
横山 竜也（区民公募委員）  
河原 宏子（緑幼稚園長）  
藤村 雅彦（柳島小学校長）  
国分 幸美（太平保育園長）

<欠席委員>

八重田 裕一郎（墨田児童会館館長）  
尾口 優子（青少年委員協議会委員）  
佐藤 順一（吾孀立花中学校長）

<傍聴者>

なし

○事務局出席者

酒井 敏春（子ども・子育て支援部長）、宮本 知幸（教育委員会事務局次長）、石岡 克己（子育て支援課長）、秋山 和栄（子育て政策課長）、細谷 勇治（子ども施設課長）、坂田 勝彦（子育て支援総合センター館長）、梅原 和恵（副参事（子ども・家庭支援連携担当））、石坂 泰（指導室長）、大八木 努（地域教育支援課長）

## 議事概要

### 1 開会

### 2 議題

#### (1) 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査について

事務局	(資料について基づいて説明)
委員	・小学生4年生以上向けの設問は、習っていない漢字が使われていると思うので、習っている漢字にしていきたい。
事務局	・ふりがなで対応したい。
委員	・小学4年生以上の方の回答は、保護者の方に見られずに回答できるのか。保護者に見られると困る設問もあるので、答えづらくなるのではないか。
事務局	・本調査では、前回調査と同様に保護者の方が見ることができる状態となっている。 ・もし必要であれば、本調査とは別として、合わせて実施しない形を検討したい。今回は対応が難しいこともあるので、次回以降に検討するようにしたい。 ・なお、今後子どもの意見聴取をしていくので、その中で配慮しながら進めていくようにする。
委員	・対象者は広げないのか。広げない理由はあるのか。
事務局	・対象者は、今回はこの数で実施させていただき、今後子どもの意見聴取で広げていきたい。 ・前回調査からは対象数を増やしている。 ・次回以降は、WEBを活用するなど検討していきたい。
西島副会長	・小学4年生向けについては、別の返信封筒にしてはどうか。そうすれば、親の顔を伺わなくてよいのではないか。 ・WEBアンケートは、メールアドレスが収集されてしまうのでは。 ・掃除、洗濯などについては、「家族のための」と追記した方がよい。
事務局	・アンケート設問の表現についてはご指摘を踏まえて適切な方法を検討したい。 ・本調査では、メールアドレスは入力することなく、具体的にはIDを入力することで識別するので、メールアドレスがわからないで回答できるシステムにしている。
委員	・前回COCOO（コクー）についてお話をいただいた。学校を通じて子どもの意見を直接聴取することはできないか。 ・今回のアンケートは、COCOO（コクー）も併用して保護者の母数を広げることができないのか。QRコードを発行する数に制限があるなどの理由があるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COCOO（ココー）は保護者向けなので、お子さんに直接アンケートに回答いただくことは難しい。ただ、タブレットを活用できるので、来年度実施していきたい。</li> <li>・この後の分科会でも子どもの意見聴取の方法などご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学2年生向けは、前回の回収率ほどのくらいか。授業の中で実施するのか。QRコード配っただけでは回収率上げるのは難しいと思う。小学生もタブレットを持っているので小学生に対してはできないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の回収率は、79.2%である。各中学校に依頼し、中学の1クラスを選んでいただき回答いただいたものである。</li> <li>・授業の一環で実施するのかどうかは、学校に任せている。</li> <li>・小学生に対してもやろうとすればできるが、今回についてはすぐにはできないため実施しない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面の方がWEB調査よりも回収率が上がると思う。ただ、紙だと学校の負担もかかる。バランスの話になってくる。</li> <li>・個人情報の紐づけについては、今後の施策の効果検証のため、同じ回答者に再度アンケートを取るなどできると良い。IDとパスワードで個人を特定できると良いのではないか。</li> </ul>
西村会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ調査の内容や方法について意見がありましたが、意見を踏まえて修正できることは修正し、進めていくようにしたい。</li> <li>・ご意見用紙も配布しているので、気づいたことなど事務局にご提示ください。</li> </ul>

## (2) すみだ子ども・子育て応援プログラムについて

事務局	(資料について基づいて説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここに本委員会の意見を反映させていくのは難しいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行のプランに基づいて様々な施策を行っている。ただ、こどもまんなが加速する中で、現行の施策だけやるわけにはいかない。そのため、庁内で検討している。どちらかという、庁内で検討して区民のみなさまへ出すものとして考えている。</li> </ul>
西村会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらについてもご意見用紙も配布しているので、何かあれば事務局にご提示ください。</li> <li>・イメージ図では墨田区の土台が一番大きくあり、ここがしっかりしていないとうまく行かないということで、次回以降の具体的な内容にご期待ください。</li> </ul>

## (3) 部会による意見交換について

### ア 前回の振り返り、イ 国、都、墨田区の子ども・子育て支援計画について

事務局	(資料について基づいて説明)
西村委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会での意見交換に入る前に、学識経験者である古屋先生から「国、都、墨田区の子ども・子育て支援計画」についてお話をいただき、今後の議論につな</li> </ul>

	げていきたいと思います。
古屋委員	(別紙資料に基づいて、国、都、墨田区の子ども・子育て支援計画等について説明)

ウ 部会での意見交換、エ 部会の報告について

西村会長 (乳幼児部 会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育の支援の充実ということで、様々なご意見をいただいた。送迎サービスがない、心理職のいる保育園がよい、保育園での相談窓口 DX、保育士の学ぶ機会が必要、みつばち園での支援が少ない、など。</li> <li>・入園児に、各保育園の取組が見えづらい、療育を必要としていない保護者にも、保育園としての療育に対する考え方があると良いという意見をいただいた。</li> <li>・一時預かりは、第2子以降の出産で大変な思いをしている、月4回ではなく利用できるが良い、区の情報が必要な人に届くと良い、区の LINE の改善など。</li> <li>・小1の壁は、関係部署などと連携が必要。</li> </ul>
野原委員 (学齢部会 副会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの意見聴取、子どもの居場所、ヤングケアラーについて話し合った。</li> <li>・子どもの居場所はハード面でもっと取り組む、ソフト面では対象を色々と考えていく必要がある。</li> <li>・ヤングケアラーは、子ども家庭支援センターを中心に、そこで見えている課題などを聞き取る必要があると思う。難関は多い。</li> </ul>

3 事務連絡

4 閉会

以上